

令和6年度 第3回 住吉区地域福祉専門会議 会議要旨

1 日時 令和7年2月6日（木） 午後6時から午後8時

2 場所 住吉区役所 4階 第4・5会議室

3 出席者

（委員）

稲田委員、相良委員、西田委員、八牟禮委員、藤居委員、藤本委員、松岡委員、
三橋委員、宮川委員、山下委員

小野アドバイザー

（区役所他）

区長、副区長、関係課長、課長代理、担当係長

住吉区社会福祉協議会 事務局長、地域支援担当係長

4 議題

報告

（1）住吉区地域見守り支援システム進捗状況について

（2）地域座談会の開催状況について

（3）「つながり・みまもり・支えあいシステム」について

議事

○「住吉区地域福祉ビジョン Ver. 3.0」において重点的に取り組むべきこと」について、
第2回地域福祉専門会議でいただいたご意見に対する計画素案について

5 議事要旨等

【報告】

○地域座談会の開催状況について

- ・地域福祉の区政を全区的に展開していくうえで、うまくいっている地域の要因、行き詰っている地域もある中で、戦略的に全区的に広げていくために必要なことがあれば。
- ・初めから大人数で始めるのではなく、地域のコアメンバーから広げた20人くらいの規模から始めると密度の濃い議論ができるように感じた。そこから必要に応じて規模を膨らませていくとうまくいくように感じる。
- ・初期のアプローチは行政や社協が主導で硬いイメージの場になりがちですが、回を重ねていく中で、本当に地域の方々がつくりたい集まりの場にしていけたらと考えている。
- ・地域づくりの2つのアプローチ、1つは専門職の方から課題解決をしながら地域づくりをしていくというもの。もう1つは好きなこととか趣味とか、みんなが興味を持っていそうなものをつなげて地域づくりをしていくというもの。2つをばらばらにするのではなく、両方を混ぜながら何かを作っていく。

○「つながり・みまもり・支えあいシステム」について

- ・「専門職と区」のところが住民には非常にわかりにくい。ちょっと整理ができれば。

【議事】

「住吉区地域福祉ビジョン Ver. 3.0」において重点的に取り組むべきこと」について、
第2回地域福祉専門会議でいただいたご意見に対する計画素案について

主な委員意見

- ・担い手不足というところでは、短期的に必要な部分と長期的に考えていく部分がある。
短期的なところ、なかなか難しいと感じており、そこを大学生で埋めるのか、現在地域で生活している生活者、子育てされている家族とか、そういうところを巻き込んでいくというような取り組みが必要ではないか。
- ・計画案5の「区長と子どもたちとの対談」が一番早くできてインパクトがあるのでは。
- ・障がいを持った人たちが、3番の座談会とか交流の場とか、6番の社会課題を解決する事業支援のところで、お客さんや支援を受ける側ではなく、一住民として参加できる形をどう考えていけるか。
- ・「担い手不足」という言葉は、もともとある事業に今、関わる人が少ないから、どう埋めていくかみたいなことだと思うのですが、ボランティアを自己実現の場と位置付けると見え方が変わると思う。ネガティブなところじゃなく、ポジティブに考えていければいいと思います。
- ・地域座談会で、住民、そこに住んでいる人を真ん中において、どう支援していったらいいかいうことを、具体的に会議を持たれていることがすごく羨ましい。
- ・情報の取扱い、発信するほうも集約するほうも、情報の発信をきっかけにして、地域づくりができるようなきっかけにできればいいと思っている。
- ・長年の課題ですが、専門職が所属している事業所と地域の関係性は、乗り越えていかなければいけない部分だと思います。

6 令和7年度の開催日程について（予定）

第1回	令和7年 6月19日（木）	午後6時から
第2回	令和7年10月30日（木）	午後6時から
第3回	令和8年 2月19日（木）	午後6時から